

平成28年度

郡上市教育委員会  
点検評価報告書

平成29年6月

郡上市教育委員会

## - 目次 -

<b>I 点検評価の概要</b>	..... P 2
1. 点検評価について	
2. 点検評価の対象	
3. 点検評価の方法	
<b>II 点検評価の内容・結果</b>	..... P 3
1. 教育委員会の活動状況	
2. 事務事業の点検評価の内容・結果	

# I 点検評価の概要

## 1. 点検評価について

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会は毎年事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが規定されました。

本報告書は、これに基づき、平成28年度の教育委員会の活動状況及び事務の執行状況の点検評価を行い、郡上市教育委員会点検評価委員の意見を付して報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2. 点検評価の対象

点検評価の対象は、平成28年度の教育委員会の活動状況と教育委員会で行った事業のうち、重点的に取り組んだ事業を中心にしています。

## 3. 点検評価の方法

点検評価では、教育委員会の事務事業の執行状況について、次に示す4区分により達成度の評価を行っています。

- A 順調に達成しているもの
- B おおむね順調に達成しているもの
- C 達成見込みであるが課題があるもの
- D 順調でないもの

## II 点検評価の内容・結果

### 1. 教育委員会の活動状況

平成28年度の教育委員会の活動状況は、次のとおりです

#### ① 教育委員会会議の開催

教育委員会会議については、定例会議12回、臨時会議を1回、合計で13回の会議を開催し、会議の議題と審議結果をホームページ上で公開しました。議案、協議事項の審査及び報告を適切に行ったほか、委員からの情報提供や事務局から各事業の進捗状況及びその他の関連事項についても、意見交換を活発に行うことができました。また、平成28年5月には、市長及び文教民生常任委員会委員との意見交換会を、12月と3月には教育委員会管理職等との意見交換会を行い連携を深めました。

#### ② 総合教育会議の開催

市長部局と連携し、平成28年度は、総合教育会議を5回実施し、「郡上市の県立高等学校の望ましいあり方」を検討し提言書をまとめて岐阜県教育委員会に提出することができました。

#### ③ 教育委員会研修・学校訪問の実施

教育委員の研修会に参加し、教育に関する情報の収集や教育行政における諸問題を研究したほか、当年度は小中学校及び幼稚園33校の内13校(園)の訪問を行いました。(その他に2校は公表会で別日訪問) 訪問先の学校では、学校長や園長から経営方針について説明を受け、教育や保育の現状を確認し、教育委員としての立場から感想や意見を述べることができました。

<活動実績>

区分	回数	内容
会議	13	定例会、臨時会
総合教育会議	5	市長と教育委員会の連携強化を図るための会議
式典等参加	41	入学式、卒業式、運動会
研修会	5	教育委員研修 教育委員会連合会研修 教育推進協議会研修等
学校訪問	13	口明方小、西和良小、大和南小、牛道小、石徹白小、高鷲小、吉田小、大和中、白鳥中、高鷲中、郡上東中、やまびこ園、みなみ園
その他	4	意見交換会

## 2. 事務事業の点検評価の内容・結果

教育委員会では、学校教育と社会教育における平成28年度の重点目標を掲げ、各事務事業に取り組みました。

重点目標毎の点検評価の内容及び結果は、次のとおりです。

### <平成28年度調査研究・計画（案）作成・実施>

#### 目標1 郡上市青少年育英奨学資金貸付制度の見直し

現在の郡上市奨学金制度利用者及び市内高等学校生徒に対するアンケート実施結果を基に、郡上市に住所を有して奨学資金を返還する者には、申請により返還金の1/2（但し免除額の上限20万円）を免除する制度に改正しました。（同返還免除の決定者は13名）そのことにより、同奨学金制度は、本来の修学者支援目的に加え従たる目的として定住促進を位置付けることとなりました。広く同制度の周知を図るため、夏休み明けから市内中学校、高等学校等へ資料を持参して将来設計の参考となるようPR活動を行いました。

##### 【事業名】

① 郡上市に居住する奨学金返還者の返還免除制度

##### 【評価】

(A)

#### 目標2 教育振興基本計画改定

郡上市の教育目標や具体的な施策を明らかにするための教育振興基本計画（計画期間平成31年度から平成35年度）の策定委員11名を市内の関係団体から推薦をいただく形で委嘱し、第1回の計画策定委員会を2月に開催しました。教育委員会事務局からは、教育施策の取組状況と課題を説明し、各委員からはそれぞれの立場で教育振興のための活発な意見の発言がありました。

##### 【事業名】

② 教育振興基本計画策定委員会の実施

##### 【評価】

(B)

#### 目標3 学校体制の調査研究

平成40年度までの市内小中学校の児童生徒数を推計しました。また、コミュニティ・スクールを運営する岐阜市を視察し、郡上市版コミュニティ・スクールを検討したり小

中一貫校として学校経営を行う白川郷学園を視察し小中一貫校の実態把握も行いました。郡上市において児童生徒数が今後、減少することが明らかであり少人数での学校であることを生かした効果的な指導の検討なども行いました。

【事業名】

③ 児童生徒数推移調査と学校体制の検討

【評価】

(B)

**目標4** 地域の拠点づくり

社会教育委員会で平成21年度から進められてきた新公民館体制への移行について、検証を行いました。また、公民館専任主事の地区公民館常駐のモデル的事業として、平成29年度予算において大中地区公民館の事務所化改修費用を計上しました。

【事業名】

④ 地域の姿の構想（地域づくりのあり方検討）

【評価】

(A)

**目標5** 文化財の保護と活用計画

現在、整備中の（仮称）郡上市歴史資料・文化財収蔵施設を中心に関係施設との調整や連携を図りながら保護と活用に取り組む体制づくりの検討を行いました。

【事業名】

⑤ 文化財の保存体制、保護体制の見直し

【評価】

(A)

**目標6** 小中学校の土曜活動の検討

市教育委員会では現在のところ土曜日に授業を実施する方向とはせず、土曜活動として地域の行事や活動に積極的に取り組むことができるよう校長会と連携して取り組んでいます。まず、土日や長期休業日に実施される行事を一覧にまとめるとともに校長会を通して教職員や児童生徒に紹介しました。また、ALT（外国語指導助手）を活用し、希望者が英語で会話しながら散歩や食事をする「オールイングリッシュデー」を昨年度より1日増やし、6月と10月の土曜日に2日間実施しました。さらに校長会では、各学校の郡上学をまとめた「郡上学全体計画」を作成しており、今後も郡上学の一環として、土日や長期休業日に実施される地域行事に参加しようとする教職員や児童生徒を増やし、郡上を愛し貢献しようとする「郡上人」を育てたいと考えます。

**【事業名】**

⑥ 土曜活動の実態把握と小中校長会との協議体制づくり

**【評価】**

(B)

**目標7 スポーツ大会開催誘致**

大会・合宿誘致計画として「2020スポーツツーリズム」を策定し、計画的に大会誘致を推進すると共に、常陸宮賜杯中部日本スキー大会兼東海北陸中学生スキー大会では、実行委員会編成により運営体制を確立することができました。

**【事業名】**

⑦ スポーツ大会開催誘致計画・運営体制づくり

**【評価】**

(A)

**目標8 スポーツ強化種目の充実**

各種目において、市内種目団体の連携強化を図ると共に、郡上市スポーツアドバイザーを活用するなど指導体制を確立することができました。

**【事業名】**

⑧ 社会人の指導者・協力者等支援体制づくり

**【評価】**

(A)

**目標9 スポーツツーリズムの取組**

平成28年12月よりスポーツツーリズム専門員を1名雇用し、スポーツ大会及び合宿誘致を推進する体制を確立すると共に、2019ラグビーワールドカップ公認キャンプ地応募を行いました。

**【事業名】**

⑨ 合宿誘致・取組チームの編成

**【評価】**

(A)

## ＜学校教育 重点目標＞

### 未来を切り拓き、力強く生き抜く郡上人を育てる学校教育

#### 目標1 学ぶ意味を知り、生活や学習に活かす学力を高める

児童生徒の科学作品展や読書感想文・英語学習発表会等の個性を伸ばす事業、教職員向けの道徳教育研修・ふるさと探訪研修や不登校・発達障がい対応研修等、ふるさとを愛し力強く生き抜く力の育成に力を入れました。また、小学校の外国語活動については、5・6年は、年間35時間、中学校は、英語の授業に年間70日～120日の間で7人のALTを派遣、美濃地区英語学習発表会には8校すべてが参加し、県大会ファイナルに残る生徒も出ました。ICT整備事業においては当初計画より早く導入が進んでおり、今年度更新校の児童生徒用パソコンのタブレット化（143台）と市内全学校へのモニターシステム（27台）を配備して教育の充実を図り学力向上に努めました。

#### 【事業名】

- ① 学習支援センター事業（各種事業費）
- ② ALT（外国語指導助手）招聘事業
- ③ 教師用指導図書整備事業（中学校）
- ④ 学校図書館整備充実事業（司書配置等）
- ⑤ ICT整備事業（タブレット端末整備等）
- ⑥ 理科備品設備・整備事業（小中学校）

#### 【評価】

- (A)  
(A)  
(A)  
(A)  
(A)  
(A)

#### 目標2 認め合い、高め合う人間関係を深め、広げる力を身につける

全中学校に「心の教室相談員」を配置して不登校やいじめ等の相談を行っています。

8校の中学校すべてに落ち着いた生活の様子が見られ、H29年2月末時点で前年度よりいじめは、12件減（H27：31件2.4%→H28：19件1.6%）、不登校は、4件減（H27：47件3.7%→H28：43件3.6%）で減少傾向です。また、小中学生の適応指導教室「スマイル」に指導員を配置して支援にあたっています。

市の相談員の年間相談件数は、平成28年度（H29年2月末）で379件と多くの要望に対応していますが、相談業務により保護者の心が安定し、そのことが子どもの心の安定や自立心、自尊心の向上に繋がっており、これまで1名体制であった市の相談員をH29年度は、2名体制とする予算確保と支援体制ができたため、さらなる効果を期待しています。また、小中学校の支援員が機能し、大きなトラブルになるのを防いでいます。



【事業名】	【評価】
① 心の教室相談事業（全中学校）	（B）
② 教育相談員、適応指導教室指導員等	（B）
③ 小中学校への支援員配置等	（A）
④ 学習支援センター研修事業	（A）

### 目標3 郡上を知り行事や活動に参加し、郡上のこれからを考えることができる

小中学校の校外学習事業においては昨年度まで一部の学校で保護者負担の学校がありましたが、平成28年度は予算化できたことで保護者負担を無料化しました。また、特色ある教育実施のために全小中学校に補助金を出しており、その他特に複数泊で郡上での体験を工夫した5校には合計1,480万円の補助金を支出するなど郡上を継続していることで将来、郡上に貢献したいと考える児童生徒が増えています。また、第5回郡上かるた大会を実施しましたが、参加応募者は毎年増加しています。

【事業名】	【評価】
① 校外学習事業（小中学校）	（A）
② 夢づくり教育事業（郡上学）	（A）
③ 郡上学—小学生・中学生体験活動推進事業	（A）
④ 郡上かるた大会等	（A）
⑤ 伝統芸能継承事業（青少年伝統芸能フェスティバル等）	（A）
⑥ ジュニア短歌育成事業、短歌サマーキャンプ事業等	（A）
⑦ 世界農業遺産推進事業（長良川水質調査・鮎釣り等）	（A）

### 目標4 進んで体験・挑戦し、我慢強くやり抜く力を身につける

小5と中1においてはすべての学校で郡上をフィールドにした宿泊体験学習を行い成果を上げています。また、中2を対象に友好都市東京都港区との交流事業を展開しており、選抜されて参加した生徒が学校へ帰ってからリーダーとして活躍し、市内中学校の学校生活を向上させています。

スポーツについては少年スポーツ団体を支援すると共に指導者部会の活動活性化を図りながら、指導者研修会を開催するなど指導者、育成者の資質向上を図りました。

さらに、強化種目としている「相撲」、「スキー（スノーボード含む）」「剣道」の組織強化や競技力向上のための取り組みを行いました。

【事業名】	【評価】
① 校外学習事業	(A)
② 小学生・中学生体験活動推進事業（港区交流等）	(A)
③ 学習支援センター事業（再掲）	(A)
④ 少年スポーツ推進事業	(A)
⑤ スポーツ強化種目育成事業	(A)

## 目標5 自立して生活できる知識や技能を身につけ、社会で活かすことができる

学校からの要望をもとに実態をとらえ、小学校に27人、中学校に5人の支援員を配置しました。年度途中にも学校からの要望に応えさらに小学校に1名の支援員を増員しています。

郡上特別支援学校とも連携して特別支援教育の研修の充実を図るなど、児童生徒・保護者の教育的ニーズに応じた支援、効果的な指導ができました。

【事業名】	【評価】
① 小中学校への支援員配置等（再掲）	(A)
② 教育相談員、適応指導教室指導員等（再掲）	(B)
③ 特別支援教育推進事業	(A)

## ＜社会教育 重点目標＞

### 元気なふるさと郡上を築く社会教育

#### 目標 1 地域ぐるみで子育てを支援し、家庭の教育力を高める

家庭教育学級は、各幼稚園、小中学校、保育園合わせて54学級開設して子育ての学習や保護者の交流を行う機会を提供しており、さらに放課後子ども教室推進事業において、ふるさとの文化や歴史を学んだり、自然体験を行う講座を11回開催しています。また、第2次子ども読書活動推進計画に基づき市内図書館においても子どもの読書推進を図り、図書も計画的な購入により蔵書の充実を図りました。また、青少年育成活動推進事業では、青少年育成市民会議へ事業委託し、少年補導員57名の委嘱の他、巡回活動や青少年の作文募集などを実施しており、2月にはPTAとの協賛で郡上教育フォーラムを開催しました。

#### 【事業名】

- ① 家庭教育学級事業
- ② 放課後子ども教室推進事業
- ③ 図書館子ども読書活動推進事業
- ④ 図書館管理運営・図書等整備事業
- ⑤ 青少年育成活動推進事業

#### 【評価】

- (A)  
(A)  
(A)  
(A)  
(A)

#### 目標 2 学習や活動に積極的に参加し、生きがいや暮らしを高める

生涯学習振興事業では、学びネットで周知しながら市民アイデア講座を開催しています。また、地域公民館では独自性を活かした活動が実施されるよう26地区公民館に活動補助金を交付しており様々な事業を実施しています。

郡上学推進事業では、郡上学地域講座・白山文化ゼミナール・歴史講座などもおこなっています。また、文化振興事業では、文化協会を支援し、文芸祭・美術展等を開催しました。

#### 【事業名】

- ① 生涯学習振興事業
- ② 公民館活動経費
- ③ 郡上学推進事業（歴史講座・郡上かるた関連事業含む）

#### 【評価】

- (A)  
(A)  
(A)

- ④ 文化振興事業（文化協会活動補助・文化事業等） (A)

### 目標3 市民協働活動・地域活動に取り組み支え合う地域づくりをする

第3回郡上市公民館まつりを開催し、自らの地域の公民館行事のみならず他地域の行事についても知っていただく機会を持っています。また、市民協働活動・地域活動に取り組む支え合う地域となるよう様々な活動交付金を交付しており、特に女性や青年が公民館に集まって活動することに対して市内で1地区特別交付金を交付しました。

展示やイベントを市民と共に企画運営することで、集客等を図ることを目的に美並ふるさと館、日本まん真ん中センターで行政パートナー事業に取り組みました。

【事業名】	【評価】
① 公民館活動経費（再掲）	(A)
② 社会教育団体育成事業（女性の会・青年団等）	(A)
③ 青少年育成活動推進事業（再掲）	(A)
④ 行政パートナー事業	(A)

### 目標4 ふるさとの文化を伝承、発展させ文化を大切にしたい地域づくりをする

古文書や歴史資料、文化財・重要美術工芸品等を収蔵・保存し、資料の解説や調査研究及び一般の閲覧利用に供する（仮称）郡上市歴史資料・文化財収蔵施設の工事に着手しました。

八幡城跡の城郭や城域の調査や、詳細測量図化を行うと共に遺構の残存状況を調査する試掘確認調査を行いました。

文化財保護事業として大師講銅造虚空蔵菩薩坐像（国指定）、長瀧寺宗版一切経保存修理（国指定）、岸劔神社大神楽道具修理・新調（県指定）、善勝寺サクラの樹勢回復（県指定）、郡上本染の仕事場修復（県指定）に取り組みました。

伝建地区内事業としては、家屋の修理8件、修景1件を実施し、さらに防災対策事業を進めるため防火水槽（100 t × 2基）を設置しました。

郡上市史編纂事業として学校で保管している資料の確認や個人資料を受け入れ、写真資料のデジタル化等を行いました。

文化振興事業として円空のこころ こどもの造形大賞の開催やジュニア短歌育成事業を行うことで郷土愛の醸成を図りました。

青年層の活性化及び伝統芸能の継承支援のため、第2回 高雄・気良青年歌舞伎公演を開催しました。また、伝統的な漁法である鮎の友釣りを若い世代に継承するため、第2回中高生鮎友釣り選手権の支援を行いました。

【事業名】	【評価】
① 歴史資料・文化財収蔵施設整備事業	(A)
② 八幡城跡保存管理事業	(A)
④ 文化財保護事業	(A)
⑤ 伝建修理・修景事業	(A)
⑥ 伝建防災事業	(A)
⑦ 郡上市史編纂事業	(A)
⑧ 文化振興事業（文化協会活動補助・文化事業等）（再掲）	(A)
⑨ 伝統芸能継承・伝統文化継承事業（漁法・短歌等）	(A)

## 目標5 スポーツを通じた健康づくりや地域づくりをすすめる

生涯スポーツを推進するため公民館と連携し気軽にスポーツ参加できる機会づくりに努めました。また、第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜の郡上会場としてグランド・ゴルフ、日本民踊、ディスクゴルフの3種目の大会が開催され、郡上市では実行委員会を設立して啓発に努め各種目の開催をサポートして計1,241人の参加を得ました。

スポーツ推進委員活動事業では、「1市民1スポーツによる健康づくりの推進」を基本目標に多くの行事を行っていますが、白山開山1300年記念プレイベントとして「長良川清流ウォーク&ノルディックウォーク」を実施しました。

少年スポーツ推進事業として少年スポーツ団体連絡協議会においてプロバスケットボールチーム東京エクセレンスオーナーの辻秀一氏を講師に迎えて指導者講習会を開催し指導者の資質向上に努めました。また、ドイツスポーツ少年団との交流事業に対して支援を行いました。

体育協会支援事業により郡上市の総合体育大会や駅伝大会の開催、県民スポーツ大会等への選手派遣、小中学生を対象としたスポーツ教室の開催など競技力向上とジュニア育成への取り組みを行いました。

スポーツ大会開催事業では、第7回全日本女子相撲郡上大会、常陸宮賜杯中部日本スキー大会兼東海北陸中学生スキー大会を開催しました。さらにJ S B A全日本スノーボード選手権大会開催時には各種おもてなしやウエルカムパーティの開催支援を行いました。

スポーツ強化種目育成事業では、強化種目として指定している「相撲」、「スキー（スノーボードを含む）」と「剣道」について競技用備品の購入や組織強化、競技力向上の取り組みに支援を行いました。

体育施設整備事業では、郡上八幡総合運動場整備工事、まん真ん中広場芝生化測量設計委託業務、那比社会体育施設遊具修繕工事の他、多くの施設整備を行いました。

【事業名】	【評価】
① 生涯スポーツ振興事業	(A)
② スポーツ推進委員活動事業	(A)
③ 少年スポーツ推進事業（再掲）	(A)
④ 体育協会支援事業	(A)
⑤ スポーツ大会開催事業	(A)
⑥ スポーツ強化種目育成事業（再掲）	(A)
⑦ 体育施設整備事業	(A)